



農作業中の熱中症を 予防しましょう！



夏は農作業中に熱中症になる危険性が高くなります。

熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です。

農作業中の熱中症

- 毎年、農作業中の熱中症による死亡者が出ています。
- 死亡事故の約85%が7月から8月に発生しています。



熱中症にかかりやすい人

- 農作業中の熱中症による死亡者数を年代別に見ると70代以上が約9割を占めています。
- 一般的に高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下するとされているので、特に注意が必要です。

予防のポイント

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



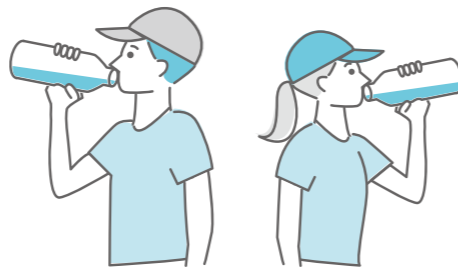
単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡を取り合う



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服を着用、空調服や送風機の活用



こんにちは。高齢者生活支援分野担当の山口愛です。日に日に暑さを厳しく感じる日が多くなりましたが、皆さん体調はいかがでしたか。熱中症にならないように、こまめに水分補給をしましょう。

さて、ここからはこれまでの活動を報告させていただきます。6月2日に多目的研修集会施設で第54期寿大学の開講式が行われました。式当日は雨が激しく降っていました。式当日は雨の生徒さんたちが参加して、私には開講式後に参加して、教養講座の講師として「健康で元気に

おのまち 地域おこし協力隊活動記

寿大学・地域懇談会に参加しました！



6月28日には、郡山市合同庁舎で行われた、令和5年度地域懇談会(県中地域)に意見発表者として参加してきました。この懇談会は、県中地域から6人が代表者として選ばれ、昨年度からスタートした福島県総合計画で目指す将来の姿や活動を通して



▲寿大学の様子①

暮らすために今からできる※フレイル予防」という題名で発表をしました。真剣に聞いている方やメモを取っている方もみられ、生徒の皆さんの熱量を感じました。発表する前は緊張していましたが、最後には楽しく健康講座を終えることができました。講座の最後に、サルコペニア(加齢による筋肉減少)を予防する体操を一緒に行いました。記事の終わりに、寿大学の講話の中でお話しした「指輪っかテスト」をご紹介します。



▲寿大学の様子②

今回の担当は…



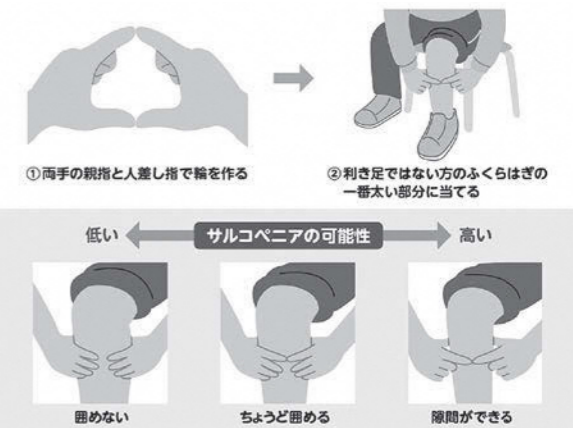
山口 愛 隊員
担当/高齢者生活支援分野
主な活動場所/小野町役場

感じている地域の課題や現状などについて話し合う会です。私は健康づくり・保健福祉分野として、これまでの活動内容を発表しました。県中地域で活躍されているさまざまな業種の方々の意見を聞く機会は少ないので、貴重な時間となりました。今回の経験を生かして、小野町の皆さんがいつまでも元気に過ごさることができるようサポートができればなと感じました。

※フレイル：加齢により心身が老い衰えた状態。虚弱状態のこと。

【指輪っかテスト】

サルコペニア(筋肉量低下)を簡易的に測定できるテストです。ふくらはぎの一番太い部分が、両手の親指と人差し指で作った輪よりも小さく隙間ができれば、サルコペニアである可能性が高いと考えられます。指輪っかテストでは、体格にある程度比例する手の大きさを用いることで、ふくらはぎの筋肉量が体格に比べて維持されているかを自己評価できます。可能性が高まるほど転倒・骨折のリスクが高まります。ご自身の筋肉量がどの程度あるか確認を試みてください。



Tanaka T et. Geriatr Gerontol Int 2018; 18(2): 224-232より作成

農地利用最適化推進委員

(議席番号順・敬称略)



15番 大竹 正元 14番 宗像 衛 13番 宗像 正 12番 渡邊 静夫 11番 小野 勲
19番 石井 一三 18番 郡司 正春 17番 佐藤 健藏 16番 先崎 照雄

農業委員と農地利用最適化推進委員の主な業務

農業委員	農地利用最適化推進委員
町全体の農地について、権限事務を執行する。 ①農業委員会などの会議に出席し、農地法などの権限に属する事項の審議、議決を行う。 ②農地法などに基づく申請の調査および審査を行う。 ③農地法に基づき町内の農地の利用状況調査および利用意向調査を行う。 ④農地利用の最適化(担い手への集積など)のため調整を行う。 など	担当地区で、担い手への農地の集積、耕作放棄地の発生防止・解消などの活動を行うなど農地の有効利用を図る。 ①農業委員会などの会議に出席し、農地法などの権限に属する事項について意見を述べ、審議を行う。 ②農地法に基づく申請の調査を行う。 ③担当する地区内の農地の利用状況調査および利用意向調査を行う。 ④農地利用の最適化(担い手への集積など)の活動を行う。 など

担当地区

農業委員会活動を円滑に行うため、農地の所在する地区ごとに担当する農業委員・農地利用最適化推進委員を定めています。地区および担当委員は次のとおりです。(敬称略)

農地の所在する地区	担当委員	
	農業委員	農地利用最適化推進委員
本町・横町・仲町・反町・大八・荒町・中通・平館・谷津作・皮籠石	先崎 善次	郡司 正春
小野赤沼・菖蒲谷・雁股田	矢吹 高德	小野 勲
飯豊上・吉野辺	羽生 洋市	先崎 照雄
飯豊中・飯豊下	横田 清一	宗像 衛
小戸神・小野山神	今泉 隆男	宗像 正
浮金	宗像 智	石井 一三
夏井・湯沢	佐藤 秀洋	佐藤 健藏
塩庭一区・上羽出庭	國府田 孝	大竹 正元
南田原井・塩庭二区・和名田	吉田 誠	渡邊 静夫

※渡邊佳子委員は中立委員のため、担当地区はありません。

☎農業委員会事務局(産業振興課内) ☎72-6938

新しい農業委員および農地利用最適化推進委員が着任

～任期は令和8年7月19日まで～

任期満了に伴い、新しい農業委員および農地利用最適化推進委員が7月20日付けで着任し、農業委員10人への任命辞令交付式が同日、役場で行われ、町長から辞令書が交付されました。町長からは「農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。農業活性化のため地域リーダーとしての活躍を期待しています」とあいさつがありました。また来賓として町議会の田村議長および竹川副議長が出席し、田村議長が祝辞を述べました。農地利用最適化推進委員9人については7月28日、役場で宗像農業委員会会長から委嘱状が交付されました。

平成28年の法律改正により、農業委員はこれまでの公選制から、地区団体などから推薦された方や立候補した方について、法律などに基づく資格審査と議会の同意を経て町長が任命する制度に改まりました。

また農地利用最適化推進委員は同改正により、新しく設けられました。担当地区の遊休農地の解消や担い手への農地集積の推進業務を受け持ち、農業委員会が委嘱します。



辞令の交付を受ける宗像会長

任期は、農業委員、農地利用最適化推進委員ともに3年間で、令和8年7月19日までです。

会長に宗像智さん

7月20日の任命辞令交付式に引き続き、初総会が開かれ、議席の決定や役員の内選が行われました。新しい役員は、次のとおりです。(敬称略)

会長 宗像 智
会長職務代理者 羽生 洋市
幹事 佐藤 秀洋
幹事 先崎 善次
幹事 吉田 誠

農業委員

(議席番号順・敬称略)



5番 國府田 孝 4番 横田 清一 3番 今泉 隆男 2番 吉田 誠 1番 矢吹 高德
10番 渡邊 佳子 9番 宗像 智 8番 先崎 善次 7番 佐藤 秀洋 6番 羽生 洋市